

### 地方創生推進プロジェクトチームの設置

■ 地方公共団体の「地方創生」の取り組みに、ごうぎんグループとして積極的に参画し、支援していくために「地方創生推進プロジェクトチーム」を設置しました。

地方創生推進プロジェクトチーム統括責任者(地域振興部担当執行役員)

地方創生推進プロジェクトチーム推進責任者(地方創生担当部長)

#### 営業統括部

商品企画  
グループ

<商品・サービス企画>

#### 地域振興部

地域振興  
グループ

<事務局>  
・地公体本部窓口  
・支援企画統括  
・外部連携統括

リレバン  
サポート室

<地元企業への事業支援>

海外進出  
支援グループ

#### 経営企画部

企画グループ

<広報・関連会社調整>

関連会社  
担当

営業店

<地公体情報収集、情報提供、戦略策定委員会参画>

山陰経済経営研究所

<情報提供、施策提案、戦略策定支援>

連携(協働・支援)

# 各地方公共団体

### 地方創生の推進

当行では、引き続き産学官等の提携先と協力しながら、地元での新産業の創出や農林水産業の振興ならびに事業支援による地元産業の競争力強化などに取り組み、地域経済の活性化を通じて地方創生に貢献していきます。

### 地方版総合戦略策定への積極的な参画

当行では、従来より地公体取引部店長と本部担当者が山陰両県の全市町村を訪問し、官民連携による地域開発や産業振興等の提案を行うなど、地方創生にかかる取組を継続して実施してまいりました。

今後も、当行グループをあげて、各自治体の委員会や戦略会議等に積極的に参加していきます。

#### ■支援対象地公体(島根県・鳥取県合計)

2県、38市町村

うち当行が指定金融機関を務めている地公体

2県、25市町村



#### 具体的な取り組み

- 地方創生推進プロジェクトチームにおいて、情報収集活動および地方公共団体との関係強化等を把握・管理
- 総合戦略策定に資する各種セミナー開催
- 戦略策定推進委員としての参画(戦略策定支援)
- 個別事案等に対する提言
- 地方創生につながる商品の開発・改定

#### 山陰合同銀行グループの参画状況(平成27年9月末現在)

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| ■地域経済や企業実態等に関する分析・調査への協力      | 1県、4市町村(6件)  |
| ■地方版総合戦略、総合計画策定等における推進組織等への参画 | 2県、35市町村     |
| ■個別相談等への対応(随時)                | 2県、38市町村(全て) |

# 地方創生への取り組み

## 【地方創生セミナーの開催】

### 地方創生セミナーの開催

■「地方創生」にかかる「地方版総合戦略」の策定を支援する取り組みとして、「地方創生セミナー」を開催しました。

セミナーを通し、人口減少・地域経済の縮小といった諸課題に対し、当地で何が必要なのか、何をすべきなのかといった地方創生への道筋を考察する機会を提供しています。

当行グループでは、金融機関として有する知見・ノウハウを最大限発揮するとともに、外部専門家との連携により、山陰創生・持続可能な地域づくりに貢献していきます。

	出雲会場	倉吉会場	益田会場	大田会場
開催日	平成27年5月12日	平成27年5月19日	平成27年6月2日	平成27年6月3日
対象者	①地方版総合戦略策定に関わる各自治体職員 ②産官学金労言で地方版総合戦略の策定支援に関与するまたは関心のある企業及び団体の関係者	ごうぎん経営者クラブ会員 (左記①②対象)		
主催	山陰合同銀行 山陰経済経営研究所		ごうぎん経営者クラブ 山陰合同銀行	



出雲会場



倉吉会場



大田会場

### J-クレジット普及促進への取り組み

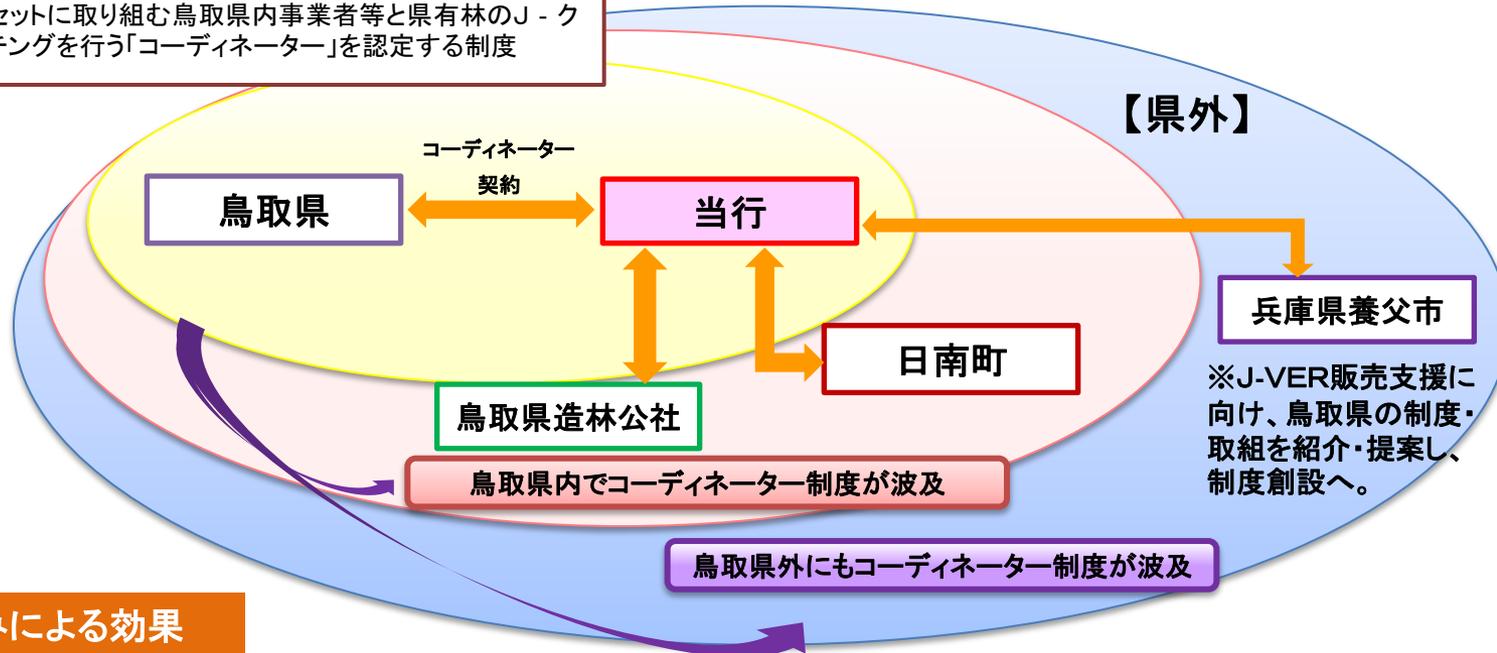
- 当行では、J-クレジットの活用による取引先の企業価値向上につながる取り組みを提案しています。
- 全国でも珍しい鳥取県独自の「J-クレジット地域コーディネーター制度」の創設に携わり、J-クレジットの普及促進を支援しています。

### 取組事例：地域の環境保全活動の普及支援

J-クレジット(旧J-VER)の取組先進県である鳥取県と連携し、J-クレジット普及促進のプラットフォームを構築。

#### 鳥取県森林J-クレジット地域コーディネーター制度

鳥取県内事業者等のカーボン・オフセットを推進することを目的に、カーボン・オフセットに取り組む鳥取県内事業者等と県有林のJ-クレジットのマッチングを行う「コーディネーター」を認定する制度



### 取り組みによる効果

- 成功報酬型のコーディネーター制度としているため、普及促進にかかる活動に継続性が生まれている。  
※当行がコーディネーターとして仲介した「J-クレジット(含むJ-VER)販売量」: 1,645t-CO<sub>2</sub>(平成27年9月末現在)
- 森林J-クレジット地域コーディネーター制度は鳥取県から県外にも広がる面的な取り組みへと発展している。

# 地方創生への取り組み

## 【お客様の利便性向上への取り組み】

■ 取引先の販促支援と地域内消費の活性化を実現し、地域に愛されるNo. 1 カードとなることを目指しています。

※ 当行が発行するICキャッシュカード一体型クレジットカード「ごうぎんDuoカード」の会員数は平成27年9月末現在で約25万人です。

### 地域内消費活性化を目指した取り組み

#### お取引先の販売促進支援

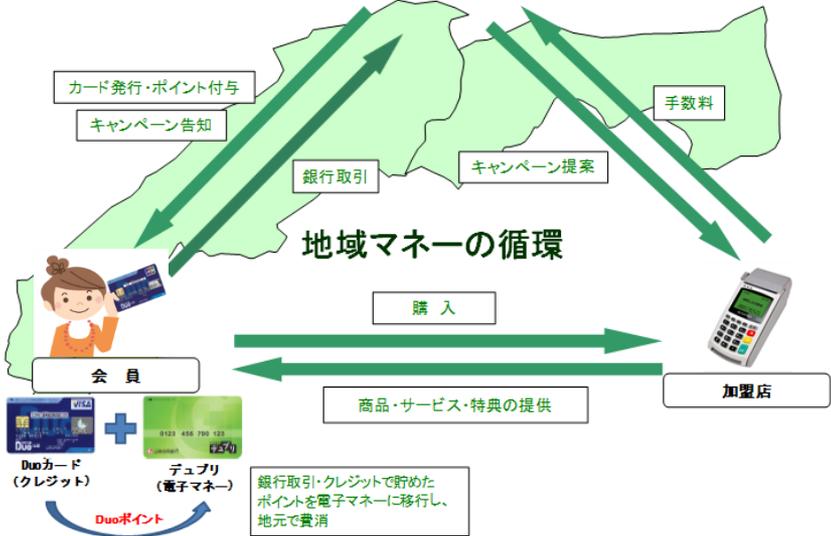
地域に密着したオリジナルキャンペーンを企画し、Duoカードを中心に地域の消費が活性化する仕組みの構築を目指しています。



#### ☆☆オリジナルキャンペーン☆☆



#### 地域マネーの循環



#### 山陰限定の電子マネー事業



Duoカードビジネスのインフラを活用し、少額決済に適した山陰地域限定の電子マネー「ごうぎんデュプリ」を取り扱っています。

- ◎ 当行に普通預金口座をお持ちの16才以上の方が対象
- ◎ 窓口で即時発行。当行ATM、携帯電話からチャージ
- ◎ 加盟店：148社 378店舗(平成28年1月末現在)



島観連許諾第1411号